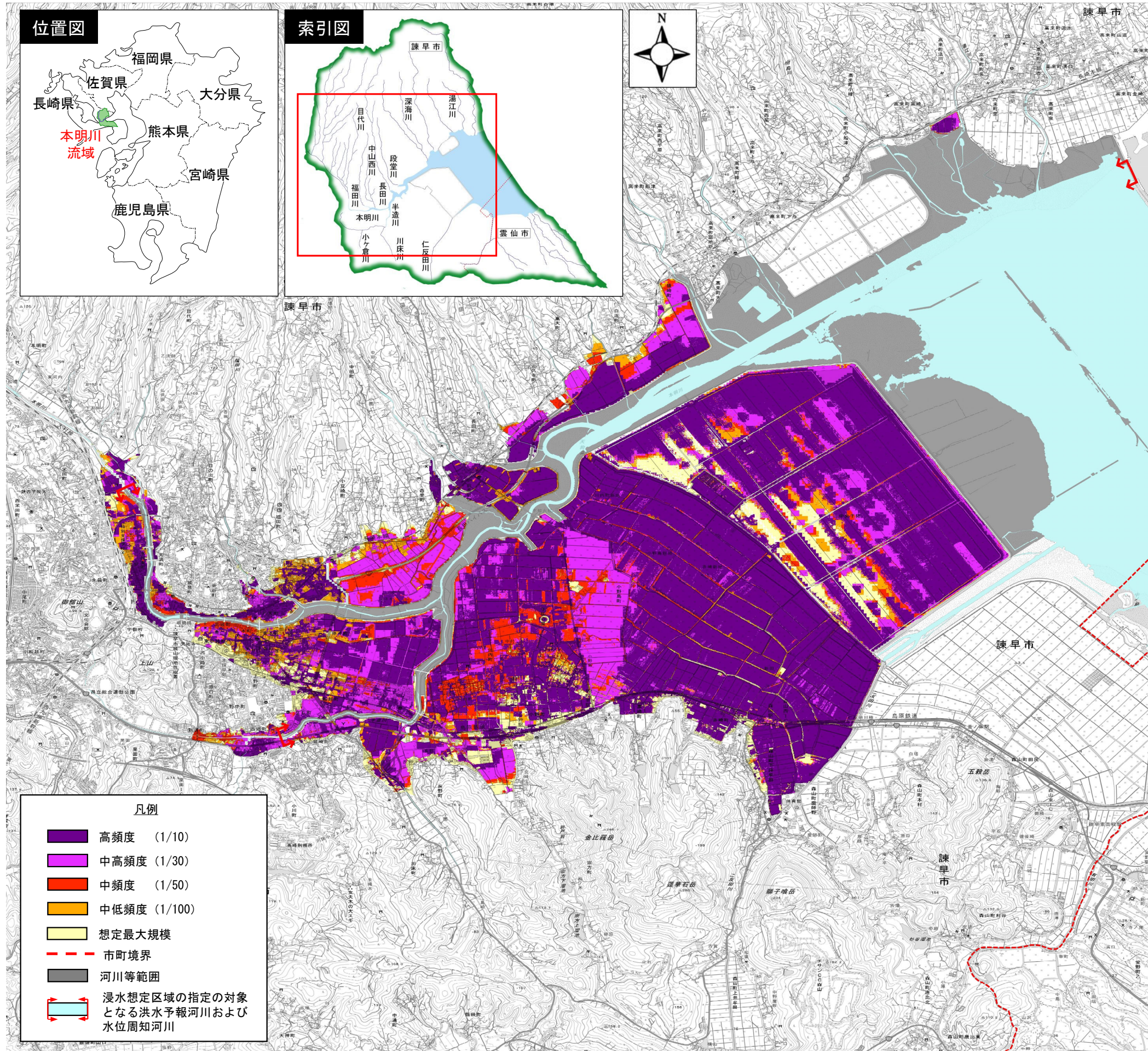


本明川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区において浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域

(3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市柴田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字埋津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率 1/〇の流域毎の総雨量(mm)	総雨量の時間	1/10	1/30	1/50	1/100
本明川・半造川(国、県)・福田川(国)	2.4時間	290	435	505	625
目代川	6時間	141	191	217	254
福田川(県)	6時間	145	196	221	257
中山西川	6時間	145	196	221	258
長田川	6時間	132	175	197	229
段堂川	6時間	143	205	240	296
深海川	6時間	137	180	201	228
湯江川	6時間	136	176	195	223
小ヶ倉川	6時間	139	176	192	215
川床川	6時間	141	189	212	246
仁反田川	6時間	142	188	211	243
雨水出水(本明川上流域)	2.4時間	301	425	490	589
雨水出水(本明川下流左岸域)	2.4時間	292	410	476	579
雨水出水(本明川下流右岸域)	2.4時間	295	428	506	632

・想定最大規模降雨(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量1,047mm)

(5) 河道条件
・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況

(6) 下水道等条件
・施設条件: 現況
・その他計算条件等:
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(7) 関係市町村 諫早市

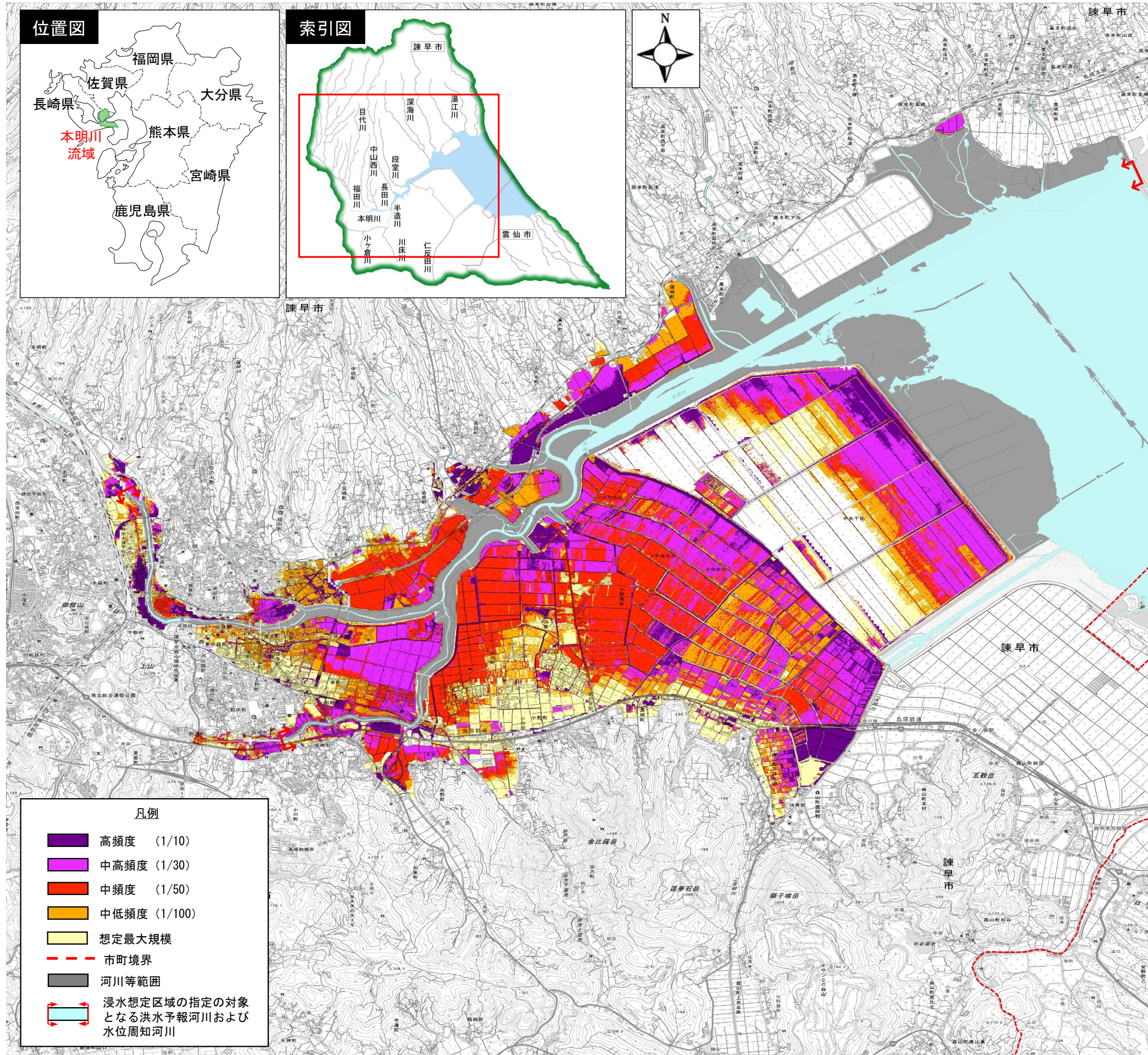
(8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」

本明川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 - (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - (5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和8年3月25日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域
- (3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市栄田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字埋津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨

年超過確率 1/〇の流域毎の総雨量(mm)	総雨量の時間	1/10	1/30	1/50	1/100
本明川・半造川(国、県)・福田川(国)	2.4時間	290	435	505	625
目代川	6時間	141	191	217	254
福田川(県)	6時間	145	196	221	257
中山西川	6時間	145	196	221	258
長田川	6時間	132	175	197	229
段堂川	6時間	143	205	240	296
深海川	6時間	137	180	201	228
湯江川	6時間	136	176	195	223
小ヶ倉川	6時間	139	176	192	215
川床川	6時間	141	189	212	246
仁反田川	6時間	142	188	211	243
雨水出水(本明川上流域)	2.4時間	301	425	490	589
雨水出水(本明川下流左岸域)	2.4時間	292	410	476	579
雨水出水(本明川下流右岸域)	2.4時間	295	428	506	632

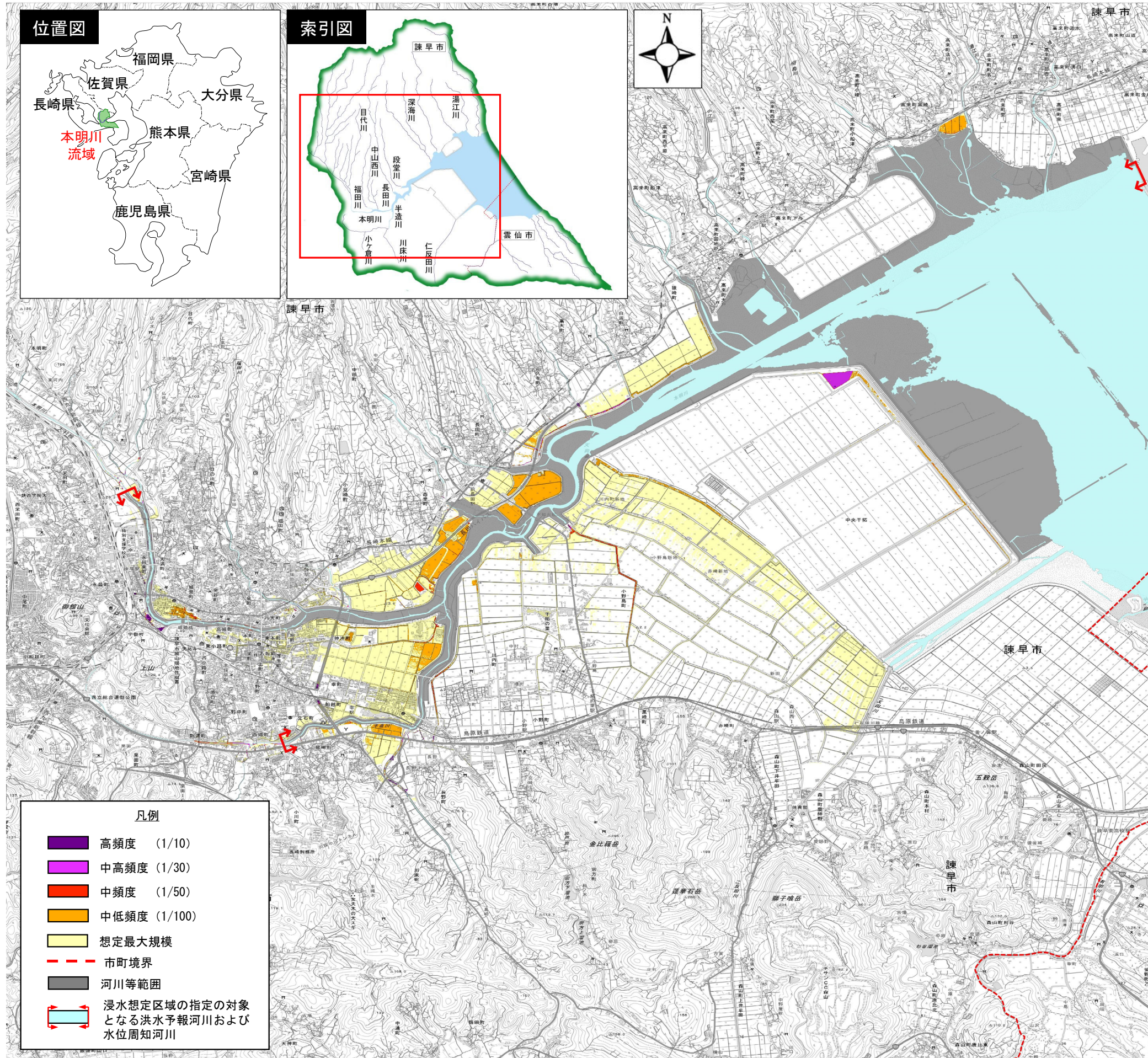
- ・想定最大規模降雨(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量1,047mm)
- (5) 河道条件
 - ・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
 - ・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況
 - (6) 下水道等条件
 - ・施設条件: 現況
 - ・その他計算条件等:
 - このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
 - (7) 関係市町村 諫早市
 - (8) その他計算条件等
 - ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」

本明川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 - (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - (5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和8年3月25日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域
 - (3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市栄田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字埋津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率 1/〇の流域毎の総雨量(mm)	総雨量の時間	1/10	1/30	1/50	1/100
本明川・半造川(国、県)・福田川(国)	2.4時間	290	435	505	625
目代川	6時間	141	191	217	254
福田川(県)	6時間	145	196	221	257
中山西川	6時間	145	196	221	258
長田川	6時間	132	175	197	229
段堂川	6時間	143	205	240	296
深海川	6時間	137	180	201	228
湯江川	6時間	136	176	195	223
小ヶ倉川	6時間	139	176	192	215
川床川	6時間	141	189	212	246
仁反田川	6時間	142	188	211	243
雨水出水(本明川上流域)	2.4時間	301	425	490	589
雨水出水(本明川下流左岸域)	2.4時間	292	410	476	579
雨水出水(本明川下流右岸域)	2.4時間	295	428	506	632

- ・想定最大規模降雨(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量1,047mm)
- (5) 河道条件
- ・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
 - ・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況
- (6) 下水道等条件
- ・施設条件: 現況
 - ・その他計算条件等:
 - このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
- (7) 関係市町村 諫早市
- (8) その他計算条件等
- ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」